

令和6年度事業実施結果・評価 (市民の笑顔と地域の活気につながる生涯学習の充実)【基本】、【重点】は市総合計画との関連を示す

S+: 目標を大幅に上回る成果をあげた S: 目標を上回る成果をあげた A: おおむね目標を達成した B: 業務に支障はないが、目標は下回った C: 目標を大幅に下回った

	施策	内部評価	外部評価
基本 施策 2 青少年健全育成	① 青少年の健全な育成を図ります 【基本】 (1)青少年健全育成の体制充実及び活動支援 ◇ 青少年健全育成市民会議の活動支援 ・ 少年の主張大会の開催 ・ 体験活動の実施	○7月28日に文化センターにおいて少年の主張大会を開催。小学生7名、中学生6名の発表を行った。 ○少年の主張大会は、小中学生が社会で起きていることや話題になっていることに対しての自分なりの考えをまとめ、発表する貴重な機会となっている。その発表を同世代の小中学生だけでなく、多くの大人が来場して聴いていたことから市民の関心も高いことがうかがえる。 ○9月に自然体験会、12月に工場見学を開催、11月に昔あそび体験としてわなげ・竹トンボ等を幼稚園等へ配布。 ○体験活動は、幼児及び小中学生の健全育成にとって欠かせない有意義な活動になっている。 △活動がマンネリ化して参加者が少なくなっていくことのないよう、工夫していく必要がある。	A ○命の尊さや人権をテーマにした発表があり、心の道標が生かされた内容で感激した。発表を通して小中学生が自分自身の考えを深める良い機会になっている。文化センターで行われることから、市民が参観できることもよい。 ○現代の児童生徒が不足している、体験活動は、健全育成のための有意義な活動である。継続して定期的に開催されることで子どもたちのモチベーションを高めることになり、保護者にとっても子供の成長を確認できる場になる。市民にとっては、子供たちの考えに触れることで、世代間の断絶を防ぐことにもつながると思われる。 ○デジタル社会が進行する中で、子供たちが体験しながら学べる機会はとても貴重である。今後とも魅力ある体験事業を創出することを期待する。 A
基本 施策 3 生涯学習の充実	② 生涯学習の充実を図ります 【基本】 (1)学習講座の充実 ◇ 市民のニーズを捉えた学習講座の企画 ・ 学習ニーズアンケート調査の実施と結果の分析 ・ 共同開催する学習講座の企画 (2)生涯学習拠点の充実 ・ 生涯学習等複合施設の整備方針の検討 (3)図書館の機能充実 ◇ 利用促進に向けた図書館資料及び機能の充実 ・ ニーズに合わせた蔵書の充実 ・ 蔵書検索等の利便性向上 ・ 図書館ボランティアの育成推進 ・ テーマ、年代別図書コーナーの設置 ・ 自主事業の充実 ◇田村市子ども読書活動推進計画の推進 ・ 読書に親しむ機会の提供 ・ 読書環境の整備 ・ 読書活動についての啓発	○年々高齢化が進んでいることもあり生涯学習への期待は高まっている。市民のニーズに応える調査を通して企画を考えることで、充実した講座にすることができた。 ○船引公民館を中心に生涯学習講座等を5館合同で多数実施し、市全体へ学習の機会を提供することができた。 B ○基本構想見直しに向けた素案の検討などを行った。 △時間をかけることで多角的に検討できる。見通しをもてるようになるまでにまだ時間を要している。 A ○市内各図書館としてできる蔵書の充実や検索等の利便性向上については取組みが進んでいる。 ○図書ボランティアに関心を寄せる市民並びに児童生徒がおり、育成推進を掲げて取り組んできた成果があがっている。 ○新刊の案内や自主事業等を市政だよりやホームページなどで広報に努めた。 ○12/7～12/22の期間「竹久夢二特別企画展」を開催し図書館所蔵資料の活用と来館者増加に努めた。 △図書館への来館者増加に向けた情報発信の強化に向けて、工夫をしていく必要がある。 ○子ども読書活動推進計画に沿って、学校を始めとして読書の機会を増やしたり環境整備を進めたりしており、充実してきた。 ○ブックスタート事業では絵本の配布と保護者へ絵本と読み聞かせの大切さを説明し家庭での読書活動推進を図った。 △学校での調査では、読書を楽しもうとする児童生徒の割合を向上させることが引き続き課題となっている。	A ○船引公民館を中心に生涯学習講座等を5館合同で実施することにより、多くの参加者があり、かつ予算の有効活用のためにもよいことである。 ○学びは学校で完結するものではなく、卒業した後が本当の学びの場となる。市民の力を活用するとともに多くの市民に学びの場を提供することはとても重要であり、フレイル予防にもなる。今後一層の充実を期待したい。 B ○高齢化の進展でますます「生涯学習複合施設」が必要になってきている。ぜひ早急の整備をお願いしたい。 A ○市内各図書館の蔵書の充実や検索等の利便性向上が進んでいる。 ○図書ボランティア、新刊の案内、「竹久夢二特別企画展」などいろいろ工夫し来館者増加に努めるとともに、図書館機能の充実に着実に取り組んでいる。また、ボランティアに関心を向ける市民の方々が出てきていることは喜ばしい。 ○今後は、市民が図書館に足を運び図書に親しむ行事等の企画を期待したい。例えば、子育て中の父母向けの本を執筆している作者などを呼び、著作物を通じた学びの場や参加者同士の交流の場を創出できると良い。 ○児童生徒の学習する場にもなっていて、勉強の意欲を途切れさせずことなく集中できる体制を整えていることも良い。 ○読書を楽しもうとする児童生徒の割合の向上が課題であるということなので、引き続き各学校での工夫した取り組みを期待したい。

令和6年度事業実施結果・評価 (市民の笑顔と地域の活気につながる生涯学習の充実)【基本】、【重点】は市総合計画との関連を示す

S+: 目標を大幅に上回る成果をあげた S: 目標を上回る成果をあげた A: おおむね目標を達成した B: 業務に支障はないが、目標は下回った C: 目標を大幅に下回った

施策		内部評価		外部評価	
基本 施策 4 芸術文化活動の推進	③ 多様な芸術文化活動を支援します 【基本】 (1)芸術文化活動の推進 ・芸術文化団体及び活動への支援 (2)文化センターの利用促進 ・小中学校芸術鑑賞教室の開催 ・市民による身近な芸術文化の提供及び周知	○芸術文化団体への支援を行うことにより、書や絵画、舞踊、音楽、演劇などの芸術文化が盛り上がっている。市民一人一人が文化意識を高め潤いのある豊かな生活を志向することにつながっている。 ○田村市文化振興発信事業で体験ワークショップによる文化活動への門戸を広げることができた。 ○小学5・6年生と中学2年生に焦点を当て市内の児童生徒全員に芸術文化に触れさせることで文化意識の高揚につながっている。感動したとの感想が多く寄せられた。 ○市民団体による芸術文化活動開催に向け、文化センターや公民館などの公共施設利用について支援をした。市民が芸術に触れやすくなるよう環境整備が進められた。 ○自主文化事業として、7月20日(土)DRUM TAO公演を開催し604名が観覧した。 宝くじ文化公演として、11月10日(日)「オーケストラで歌う華の名曲セレクション」を開催。 ・アーティスト支援公演として、3組の公演が開催された。 ・映画鑑賞会を8回、開催した。	A	○多くの市民の芸術文化の向上に支援は不可欠。本市の文化団体の書や絵画、舞踊、音楽、演劇などの芸術文化が行政の支援にええられている。継続支援が必要である。市内の芸術文化団体が、全国的に活躍している団体との交流の機会を創出し、より広範囲に学べるようにしていくと、地域力アップにも繋がっていくと思われる。	A
	④ 地域に遺された文化財の保存と継承を図ります 【基本】 (1)文化財の保存と継承 ・文化財保護審議会の開催と文化財等研修会への参加 ・指定文化財の防災訓練と防火査察の実施 ・指定文化財の周知 ・田村市史シリーズの継続発行 ・無形民俗文化財の保存と伝統芸能の継承 (2)文化施設の整備と充実 ・歴史民俗資料館の活用促進 ・文化財保存施設の整備 (3)文化財の調査と活用 ・遺跡調査出土品のデジタル化と保存	○文化財保護審議会を3回、開催。また、県文化財保護指導者研修会に参加。 ○研修会の委員は、文化財保護の意識の啓発につながっている。 ○「文化財防火デー」に伴う国指定文化財堂山王子神社での防災訓練と市指定文化財の防火査察を例年どおり実施した。 ○防災訓練を通して、指定文化財の意義を市民に啓発できている。 ○指定文化財標柱・説明版は「片曾根山三十三観音」ほか4カ所に設置した。 ○文化財マップの増刷を行った。 ○田村市の歴史を知る貴重な資料としての意義を伝えることができています。 ○民俗芸能継承団体へ継承活動の支援(補助金交付)を行った。 ○無形民俗文化の保存と伝統芸能の継承に向けて関係者の協力を得ることができた。 ○歴史民俗資料館の常設展示は無料で、市内外の方々が利用しやすい時間設定とすることで年間を通して一定数来館している。 △文化財を保存していくための施設・設備の整備については、膨大な資料等を整理するために人・物・時間を要することから今後さらに検討を重ねていく。 ○埋蔵文化財包蔵地台帳及びデジタル版遺跡地図をホームページへ掲載し、周知を行った。	A	○堂山王子神社や芦沢の観音様などに代表されるような本市の貴重な文化財が消失しないよう啓発していくことが必要である。 ○国指定文化財 堂山王子神社など、防災訓練と市指定文化財の防火査察は極めて大切であり、市民の意識高揚につながっている。毎年実施することが必要である。 ○田村市の歴史を知る貴重な資料としての意義を伝えることができ文化財マップの増刷はよかった。携帯用の紙マップはよくできている。ただ、デジタルマップは1枚となっているので、PCでは大丈夫ですが、スマホでは見づらい。改善が必要である。 ○民俗芸能継承団体への補助金交付は、継承する上で大きな役割を果たしている。	A
基本 施策 5 文化財の保護と継承			A	○文化財を保存していくための施設・設備の整備には、より多くの人・物・時間をかけてもよい。来館者の利便性向上に取り組んできたことは評価できる。館内への入りやすさや館内の清潔さ及び展示方法の工夫によって来訪者数、特に再訪者が大きく変化するとと思われるため、より一層の充実を期待する。	A
			A	○埋蔵文化財包蔵地台帳及びデジタル版遺跡地図をホームページへ掲載し、周知を行っていることは素晴らしい。継続願いたい。	A

令和6年度事業実施結果・評価

(市民の笑顔と地域の活気につながる生涯学習の充実)【基本】、【重点】は市総合計画との関連を示す

S+: 目標を大幅に上回る成果をあげた S: 目標を上回る成果をあげた A: おおむね目標を達成した B: 業務に支障はないが、目標は下回った C: 目標を大幅に下回った

施 策		内部評価		外部評価	
基本 施策 6 生涯 学習 を 起 点 と す る 地 域 活 性 化	㊦ 地域人材・資源を活用した活動を支援します 【基本】 (1)観光、交流、起業、 地域活動等との連携強化 ◇ 地域学校協働活動事業の推進 ・地域学校協働活動運営の充実【重点1】 ・ボランティアの確保と資質向上 ◇ 放課後子ども教室の円滑な運営 ・実施校の継続 ・コーディネーターの育成 ・安全管理員等の確保と資質向上 ・事業活動の成果等発信 (2) リカレント教育（学びなおし） の充実 ◇ たむら市民大学「たまり」の推進 ・エンジョイライフ支援（生きがい） ・講師の募集・育成 (3) デジタル文化資源の活用 ・デジタル文化資源の公開	○各地域とも地域を熟知した教育協議会の会長並びにコーディネーターを中心として学校への支援活動が行われ、円滑に運営が進められている。 △学校からの要望をもとに支援活動を行っているが、ボランティアが確保できている地区と十分ではない地域があり、今後とも地域人材の確保が必要である。 ○滝根、常葉、船引南、美山の4小学校で運営され、放課後の子どもの居場所を提供したことで、子どもたちだけでなく家庭・地域の安心感が得られた。 △今後とも安全管理員等、人材の確保が必要である。(情報発信)	A	○教育協議会の会長やコーディネーターが学校への支援活動を行い、円滑に運営が進められていることは「地域の学校」としての姿がより鮮明になってきている。ボランティア人材の確保はなかなか難しい問題であり、市が市民に声を掛けることも大切だが、ボランティアの方々の交流から広げていくことも一つの方法として考えられる。 ○放課後子ども教室は、放課後の子どもの居場所が提供され、子どもたちも保護者、地域のためにも大きく寄与している。	A
		○本年度28講座に371名の市民が参加し学習した。市民大学「たまり」が広く市民に知られ、活力と潤いのある生活に向けた生涯学習の体制が充実してきた。 新たな講師の応募もあり、講座企画支援を行うことで、講師の育成をすることができている。	A	○多くの市民が参加できる講座が開講されたことは非常に良かった。講座に参加してみても、若者から高齢者まで世代を超えての交流には喜びが得られることを実感したとの声を聞いた。「地域の宝」である人財の活用の点からも、市民の学びの姿勢醸成からも有意義である。より多くの市民が参加し、活力と潤いのある生活に向けた生涯学習が今後とも実施されることが期待される。	A
		○古文書デジタル化業務を実施し、石井家文書1,700点をデジタルデータ化した。 △公開を前提としたデジタル文化資源整備を進め、具体的に準備を進めていく。	A	○地方史研究会の会員が中心となり、古文書デジタル化業務が実施され、石井家文書1,700点がデジタルデータ化されたことは素晴らしい。 貴重な古文書の保存に大きく寄与している。	A
基本 施策 7 スポ ーツ 推 進 計 画 の 策 定	㊧ 生涯・競技スポーツの振興を図ります 【基本】 (1)生涯・競技スポーツの振興の支援 ・地域スポーツ団体による活動支援	○地域スポーツ団体のメンバーが地元中学校部活動の指導に出かけるなど積極的に支援し、技術向上が図られた。 △地域スポーツ団体のメンバーがボランティアで指導にかかわっている現状もあることから体系的な指導体制の構築を図る必要がある。	B	○中学校部活動の指導が地域に移行される傾向にあるが、子供たち優先の考え方で学校との緊密な連携が図られることを期待する。	B

令和6年度事業実施結果・評価

(市民の笑顔と地域の活気につながる生涯学習の充実)【基本】、【重点】は市総合計画との関連を示す

S+: 目標を大幅に上回る成果をあげた S: 目標を上回る成果をあげた A: おおむね目標を達成した B: 業務に支障はないが、目標は下回った C: 目標を大幅に下回った

施 策		内部評価		外部評価	
基本 施策 8 幅 広 い 年 代 が 親 し め る ス ポ ー ツ ・ レ ク リ エ ー シ ョ ン 活 動 を 推 進 し ま す	⑦ 幅広い年代が親しめるスポーツ・レクリエーション活動を推進します 【基本】 (1)スポーツ・レクリエーション活動の推進 ◇ 運動公園内施設によるスポーツ交流人口の拡大 ・国内外からの高校や大学、社会人チームの合宿誘致 ・県レベル各種大会の誘致 ・クロスカントリーコースの利活用 ◇ 田村富士ロードレース大会の推進と参加者拡大 ・学校やスポーツ団体との連携による参加者の拡大 ◇ ふくしま駅伝への参加と記録への挑戦 ・年間を通じた質の高い練習とスタッフの確保 (2)スポーツ・レクリエーション施設の活用 ・総合体育館、地区運動場等の利用促進 (3)指導体制の充実 ・指導者対象の研修会や講習会の開催 ・スポーツ少年団活動への支援	○都道府県駅伝大会福島県チーム合宿などが行われた。今後も他団体を含め継続的に開催されるよう誘致していきたい。 ○ 福島県小学生リレーカーニバル(9/14)が行われた。 ○田村富士ロードレース大会(10/20)ウォーキングコース、たむらクロスカントリー大会(3/16)を開催した。 ○田村富士ロードレース(10/20)、たむらクロスカントリー大会(3/16)が開催され、学校やスポーツ団体と連携し参加者の周知を図った。市民のスポーツへの関心を高めるための事業として一定の効果をあげている。 ○11/17ふくしま駅伝競走大会に向け、9月から田村市陸上競技協会に業務委託して、強化を目指しての練習から選手のメンタルケア・選考まで全面的に連携協力して事業遂行を図ることができた。市の部7位、総合9位の成績を収めることができた。	A A A	○本市の施設が、都道府県駅伝大会福島県チーム合宿などに利用されたことは望ましい。今後とも利用促進に努力していただきたい。 ○福島県小学生リレーカーニバルに使用されたこと評価できる。市の施設の有効活用、地域活性化、交流人口の増大の面からも重要な取り組みである。施設管理や安全対策に十分に目配りをしながら取り組んでいくことを期待する。 ○田村富士ロードレース大会(10/20)ウォーキングコース、たむらクロスカントリー大会の参加者が増加するよう今後とも努力が必要である。 ○田村富士ロードレース、たむらクロスカントリー大会をはじめ、市民のスポーツへの関心を高めるための事業を今後とも推進することが求められる。 ○ふくしま駅伝競走大会への関係各位のご努力に敬意を表したい。田村市陸上競技協会への業務委託により一貫した強化練習、メンタルケア・選考まで全面的に連携協力しての推進は望ましい。市の部7位、総合9位の成績は、これまでの取組みの成果として評価できる。	A A A